

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工に関する研究小委員会	主 査 名：名和豊春 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)	委員長名：阿部道彦 主 査 名：阿部道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年度版 JASS 5 で規定された乾燥収縮率 8×10^{-4} 以下の目標を実現するための技術の現状を取り纏める。 ・ 2009～2010 年度：膨張材・収縮低減剤の材料特性、調合方法、養生などの施工条件が収縮ひび割れに及ぼす影響に関する技術の現状を調査・整理する。 ・ 2011 年度～2012 年度：「収縮低減材料を用いたコンクリートの技術の現状」を取り纏め、講習会を企画する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 名和豊春 (北大)、古賀康男 (セメント協会)、井ノ川尚 (住友大阪セメ)、閑田徹志 (鹿島)、木之下光男 (竹本油脂)、黒岩秀介 (大成)、菅俣 匠 (BASF ポゾリス)、栖原健太郎 (電化)、棚野博之 (国総研)、谷村 充 (太平洋セメ)、檀 康弘 (新日鐵高炉)、玉石竜介 (花王)、西田 朗 (清水)、野口貴文 (東大)、兼松 学 (東理大)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無機系混和材料 WG：収縮低減性混和材の技術の現状を調査し、取り纏める。 ・ 有機系混和材料 WG：収縮低減性混和剤の技術の現状を調査し、取り纏める。 	
2011 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	13 回 (小委：2 回、無機系 WG：5 回、有機系 WG：6 回、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	「収縮低減材料を用いたコンクリートの技術の現状」の構成を確定し、原稿執筆を進めた (完成目標：2012.11)。
委員会活動の問題点・課題	